

日本ブドウ・ワイン学会 (ASEV JAPAN) 2023 名古屋大会

日時	2023年12月16日(土) 一般講演(口頭発表)・特別講演・総会・研究会 2023年12月17日(日) 一般講演(ポスター発表)・セミナー・学会賞受賞講演
会場	名城大学 天白キャンパス 共通講義棟東(名古屋市天白区)
大会参加費	3,000円(学生 1,500円)
研究会費	6,000円(学生 3,000円)
大会実行委員長	中尾 義則(名城大学)

2023年12月16日(土)

9:30 **開会の辞** 中尾義則 大会実行委員長(名城大学)
(E404 教室)
一般講演(口頭発表)
【座長:小松正和(山梨県)】

9:45 **O-1**
醸造用ブドウ圃場における馬耕が及ぼす土壌物理性への影響評価
○押尾朱也香¹・中島直久¹・近藤良介²
(¹帯広畜産大学・²Kondo Vineyard)

9:57 **O-2**
山梨県勝沼地域のテロワール解析
○賀茂翔也^{1,3}・恩田 匠²・佐藤憲亮²・木村英生²・田村隆幸^{1,4}・松坂浩志^{1,3}・古屋真太郎^{1,5}(¹勝沼ワイン協会・²山梨県産業技術センター・³MGVs ワイナリー・⁴メルシャン(株)シャトー・メルシャン・⁵原茂ワイン(株))

10:09 **O-3**
日本各地のソーヴィニヨン・ブランを用いた試験醸造ワインの品質に及ぼす栽培地の影響(第二報)
○小山和哉・大浜友子・服部あゆみ・榎尾篤樹・岩下和裕・後藤奈美(独)酒類総合研究所)

10:21 **O-4**
ワインに地域特性を付与する酵母の探索と醸造特性
○近藤 梢・柴山洋翔・奥村ゆい・乙黒美彩
(山梨大学ワイン科学研究センター)

10:33 **O-5**
市販ワイン酵母を添加しないワイン製造における *Saccharomyces cerevisiae* のモニタリング
○小畑龍太郎^{1,2}・清水秀明²・鎌田 綾²・菅野義也³・小山和哉²・後藤奈美²・岩下和裕^{1,2}(¹広島大学大学院統合生命科学研究科・²酒類総合研究所・³tetta(株))

【座長:小山和哉(酒類総研)】

10:45 **O-6**
IR-Biotyper を用いた自然発酵ワイン醪由来

Saccharomyces cerevisiae の株識別

○坂田陸郎¹・岡田彰奈¹・下津智志¹・机 伸太郎¹・山本信明²・表 雅之¹・宇山敦生¹(¹アサヒビール(株)生産本部・²ニッカ余市ヴィンヤード(株))

10:57 **O-7**
非産膜マスカット・ベリーAワインにおける産膜抑制成分の分離精製
○村松俊哉¹・後藤理那¹・中川洋史²・岸本宗和¹・久本雅嗣¹・奥田 徹¹・渡辺(斉藤)史恵¹(¹山梨大学ワイン科学研究センター・²山梨大学大学院総合研究部)

11:09 **O-8**
日本各地のマスカット・ベリーAを用いた試験醸造ワインの特徴(2020~2022年)
○平野高広¹・佐々木佳菜子²・後藤奈美³・小山和哉³・菊池祥¹・玉川英幸¹(¹(地独)岩手県工業技術センター・²キリンホールディングス(株)・³(独)酒類総合研究所)

11:21 **O-9**
ワイン用樽材から抽出される糖類に関する研究
○貝沼元気・久本雅嗣・渡辺(斉藤)史恵・奥田 徹
(山梨大学ワイン科学研究センター)

11:33 **O-10**
‘甲州’の果皮色および醸し発酵条件がオレンジワイン品質に及ぼす影響
○小松正和・佐藤憲亮・木村英生・恩田 匠
(山梨県産業技術センター)

【座長:澤邊昭義(近畿大)】

13:00 **O-11**
ニホンナシワインの製造とポリフェノール成分分析
○山下絵梨香¹・川俣昌大²・金子明裕²(¹九州大学大学院生物資源環境科学府・²岡山理科大学ワイン発酵科学センター)

13:12 **O-12**
白ワインにおける酸味の質評価と酸指標との関係
○渡辺(斉藤)史恵・鈴木奈奈・久本雅嗣・奥田 徹
(山梨大学ワイン科学研究センター)

13:24 O-13

自動オMISSION装置を用いた赤ワインの“熟した果物”様香気の評価

○佐々木佳菜子・菊池晴美
(キリンホールディングス(株)飲料未来研究所)

13:36 O-14

山梨県産シラーワインで発生した異臭の原因解明

○柳沢佳奈子¹・菊池晴美¹・佐々木佳菜子¹・丹澤史子²
(¹キリンホールディングス(株)飲料未来研究所・²メルシャン(株)シャトー・メルシャン)

13:48 O-15

過酸化水素滴定を用いたワインの酸化耐性ポテンシャルの推定

○厚木 海・佐藤拓実・渡辺(齊藤)史恵・久本雅嗣・奥田 徹
(山梨大学ワイン科学研究センター)

【座長：川俣昌大(岡山理大)】

14:00 O-16

ワインのブドウの品種に関わるプロアントシアニンの差異とそれらのAGEs生成阻害作用

○澤邊昭義^{1,2}・西村満菜¹・米虫節夫³・竹田竜嗣⁴(¹近畿大学農学部・²近畿大学大学院農学研究科・³大阪公立大学大学院工学研究科・⁴関西福祉科学大学健康福祉学部)

14:12 O-17

国産ワイン製造機器開発の試みー自動ルミアージュ装置の試作ー

○恩田 匠¹・新藤 淳²・武川 登²・越石英史²・松坂浩志³・山田博之¹・高尾清利¹・岩間貴司¹・吉村千秋¹(¹山梨県産業技術センター・²藤精機株式会社・³(株)塩山製作所(MGVsワイナリー))

14:24 O-18

ワイン・テイasting語彙「ミネラル」についての社会言語学的考察

○鈴木隆芳(大阪経済大学経済学部)

14:36 O-19

フランス就農支援制度「農業テスト空間」に関する一考察

ーノルマンディのシードル農家を例にー

○峰尾幸宗(Sous les Cerisiers)

15:00 – 15:30

ポスター発表・ショートプレゼンテーション

(ポスター発表者による2分間の口頭発表)

2023年日本ブドウ・ワイン学会 特別講演

【座長：大滝敦史(日本ブドウ・ワイン学会 会長)】

15:45 – 16:45

愛知の発酵食の魅力と大学ブランド清酒の開発

加藤雅士(名城大学農学部応用生物科学科)

17:00 – 17:45 総会

18:00 – 20:00

研究会(懇親会)

名城大学天白キャンパス タワー75 15階
レセプションホール

2023年12月17日(日)

9:30 – 10:45 一般講演(ポスター発表)(1Fロビー)

P-1

全国各地のシャルドネを用いた小規模ワイン試験醸造(2021・2022年)

○高橋祐樹¹・後藤奈美²
(¹長野県工業技術総合センター・²(独)酒類総合研究所)

P-2

日本ワインのアミノ酸組成と酵母資化性窒素の調査

○横森洋一・井上絵梨・岸本宗和・奥田 徹
(山梨大学ワイン科学研究センター)

P-3

日本国内における有望なマイナー品種とメジャー品種との視覚的な生育ステージ比較

○樫尾篤樹¹・小山和哉¹・後藤奈美¹・根本 学²・下野雄太³・三浦季子³・磯部武志³・三輪由佳³・太田佳宏⁴・根本圭也⁴・新谷勝広⁴・佐々木俊洋⁵・佐藤政明⁶
(¹酒類総合研究所・²農研機構北海道農業研究センター・³大阪府立環境農林水産総合研究所・⁴山梨県果樹試験場・⁵岩手県農業研究センター・⁶長野県農業試験場)

P-4

甲州ブドウの矮性育種に向けた植物ホルモン応答遺伝子VvSAUR50の機能評価

○三上法香・森山綾音・鈴木俊二・上田雄大・榎 真一
(山梨大学ワイン科学研究センター)

P-5

赤ワインマスト中の細菌叢の解析

○浅野公介¹・木藤伸夫²
(¹松本大学人間健康学部・²松本大学健康科学研究科)

P-6

原料ブドウの殺菌処理によるワイン醸造への影響について

○吉崎隆之・田邊智也・山本 覚 (福山大学生命工学部)

P-7

酒石析出に影響を与える多糖組成の分析

○馬場貴矢・上條 瑞・横森洋一・渡辺 (齊藤) 史恵・久本雅嗣・奥田 徹 (山梨大学ワイン科学研究センター)

P-8

ブドウ果汁中におけるグリオキシル酸の生成

○沢城亮太・内田拓実・渡辺 (齊藤) 史恵・奥田 徹・久本雅嗣 (山梨大学ワイン科学研究センター)

P-9

アントシアニンとグリオキシル酸から形成されるアントシアニン誘導体とその特徴

○羽賀彩乃・明石直樹・深澤京香・渡辺(齊藤)史恵・奥田 徹・久本雅嗣 (山梨大学ワイン科学研究センター)

P-10

アントシアニン、SO₂及びアセトアルデヒドの相互作用に関する研究

○加藤瑛也・渡辺(齊藤)史恵・奥田 徹・久本雅嗣 (山梨大学ワイン科学研究センター)

P-11

播磨灘から分離した酵母によるミカン醸造酒の開発

○久保友紀子¹・乙黒美彩¹・頭巾祥子²・魚住嘉伸²・柳田藤寿¹ (山梨大学ワイン科学研究センター・²赤穂化成 (株))

P-12

香りに関する言語的記述がワインの味わいの知覚に及ぼす影響

○大沼卓也 (近畿大学産業理工学部)

11:00 – 12:00

2023年日本ブドウ・ワイン学会 学会賞 受賞者講演

2023年日本ブドウ・ワイン学会 セミナー (E404 教室)

【座長：小林弘憲 (メルシャン)】

13:00 – 13:45 Session #1

データでみる酒類産業の多様化と、ワイン業界の課題

喜多常夫 (きた産業 (株))

13:45 – 14:30 Session #2

日 EU・EPA を契機として新たに認可となった食品添加物
を利用したワイン製造技術について

川上 晃 (シンワフーズケミカル (株))

14:45

2023年日本ブドウ・ワイン学会 大会発表賞 授与式

大会発表賞について

大会発表賞選考委員会の選考による「大会発表賞 (口頭発表部門・ポスター発表部門)」を各1題選出します。

日本ブドウ・ワイン学会 授賞規定

第8条 (大会発表賞の選考手順) 3. 大会発表賞選考委員会は、本規定の趣旨にそって大会発表賞受賞者を選考する。選考は、大会発表賞選考委員会で評価項目を定め、各委員が採点し、口頭発表およびポスター発表それぞれの最も高得点の若手 (原則として40歳未満) 発表者に授与する。4. 大会発表賞の受賞者は受賞後5年間、大会発表賞の選考対象外とする。